

令和2年度石川県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会 報告

本講習会の目的 失語症者のコミュニケーションの援助を行うために、失語症者の日常生活における困難さを理解し、コミュニケーションの知識や技術を身に着けた「失語症者向け意思疎通支援者」を養成する。将来的には派遣に繋げ、失語症者の生活の質の向上と福祉の向上を図る。

内容 講義12時間 実習28時間

失語症の原因
症状など

失語症者の生活の困難さ、
どんな支援を必要として
いるのか

何を大切にし、
どんな関わり方を
すればいいのか

- ・失語症とは何か
- ・失語症のある人の日常生活とニーズ
- ・意思疎通支援者とは何か
- ・心構えと倫理
- ・コミュニケーション支援技法
- ・外出同行支援
- ・派遣事業と意思疎通支援者の業務
- ・実習（コミュニケーション支援技法、外出同行、身体介助）

受講者同士、
講師、失語症者との
豊富な実習

講習日程 2020年9月27日（日）～12月13日（日）
全9回

会場 金沢市ものづくり会館
金沢港クルーズターミナル（外出同行支援実習）

受講者 人数10名 修了者10名
年齢 40～66歳（平均 55.1歳）
住所 金沢市、かほく市、
野々市市、津幡町

講義

みなさん
熱心に受講され、
質問もたくさん
ありました。



コミュニケーション支援実習

言語聴覚士や受講者同士で実習後、
当事者講師と会話しました。
ゲームや思い出の品などを見ながら
の会話などを行いました。
文字で書いたり、会話の速度に気を
配っています。



身体介助実習

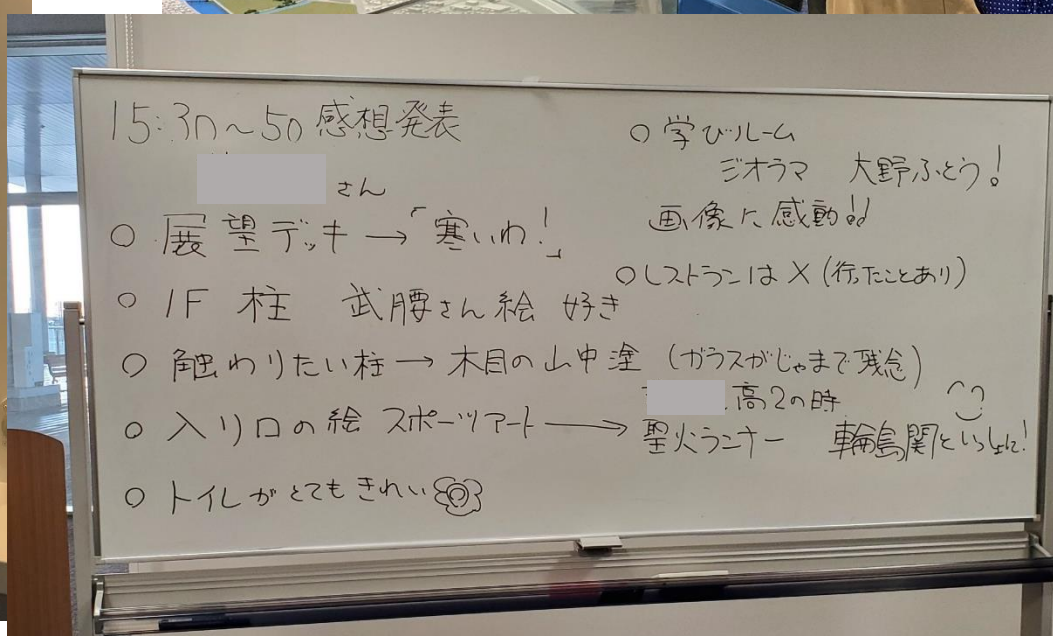
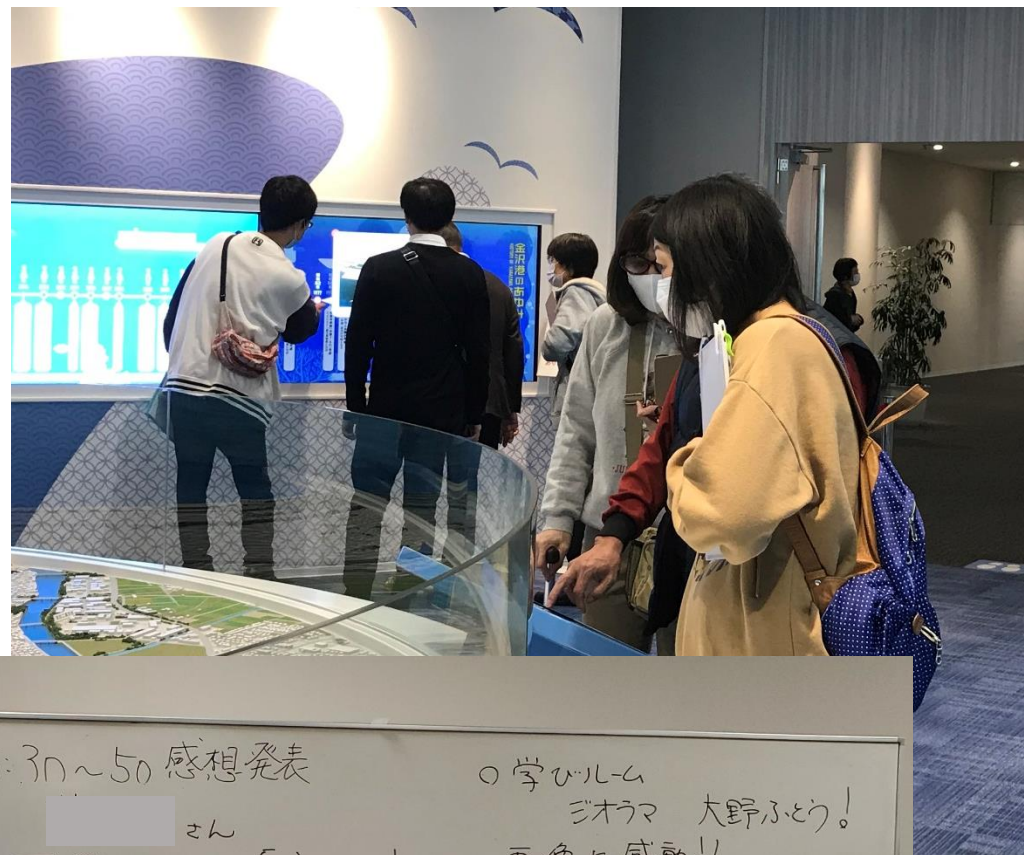
理学療法士を講師に迎え、
車いす体験や階段での歩行介助
なども行いました。

感染症対策

会場や当会の感染予防策を守り、
マスクやフェイスシールドの装着、
体温測定、手指消毒、換気などを
徹底いたしました。

外出同行支援実習

金沢港クルーズターミナルで行いました。どこを見学するかを計画し、見学後は感想を話し合いました。感想は要点を書いて、分かりやすく示します。



受講者の感想

- ・失語症と支援者としての関わり方がわかりやすく学べた。
- ・絵、写真など非言語的な方法が多く使われること、などの具体的な方法を知ることができ、勉強になった。
- ・支援者としての心構えと倫理を常に念頭においておきたい。
- ・**実習が多く**、当事者との実習を体験できてよかった。
- ・仕事で失語症の方との関わりにおいて **伝えたい・聞きたいことを意識して** 関われるようになった。
- ・一人一人違いがあり、支援者として接する際に対応の違いが無限にあると感じた。
- ・当事者講師それぞれの道程と前向きな姿勢に心を動かされた。

当事者講師の皆さんも実習で受講生と会話することを楽しまれ、会話の題材として写真等を持参される方が多数いらっしゃいました。当事者、ご家族からはこの事業に期待を表明される方が多く、今後とも実習へは協力したいと申し出がありました。

講習会を開催して

石川県で初めての「失語症者向け意思疎通支援者」が10名誕生しました。今後は意思疎通支援者としての活動の場やステップアップの研修を検討しています。

また、今後石川県失語症友の会や県との連携を強化し、派遣事業開始に向けて推進していきます。

最後になりましたが、受講者の皆様、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。来年度も講習会は開催予定です。